

# 道路づくりで活気溢れる “ふるさと島根”を創造



## 山陰道の整備促進

- ・ 県内整備率 R6年度；約75% ⇒ R7年度；約83%



## 安全・安心な道路環境の構築

- ・ 道路改築事業・交通安全事業・電線共同溝事業の推進

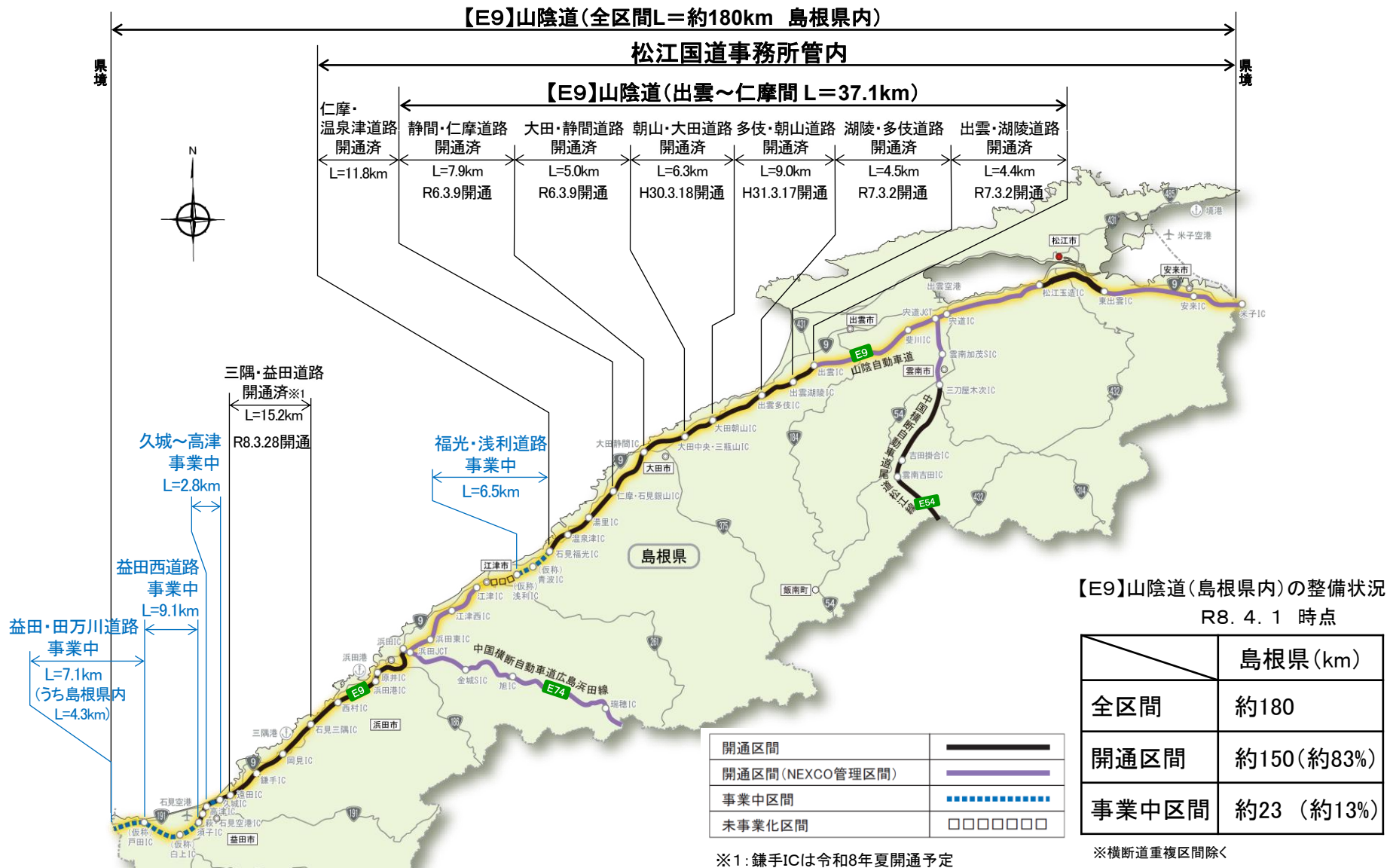


## 働き方改革

- ・ 建設業界と一体となった担い手確保、環境整備の取組

# E9 山陰道の整備状況（島根県内）

- 県内の山陰道整備を促進
- 令和7年度末の整備率は約83%



- 開通記念イベント（令和7年2月22日開催）では、本線上及び湖陵総合公園でイベントを開催。
- 本線上では、サイクリング、ランニング、ウォーキングを実施し、約1,500人が参加。
- 湖陵総合公園では、ステージイベント、テント村、企業ブース、はしご車乗車体験等に約1,000人が参加。

### ■本線イベント(約1,500人参加)



■サイクリング



■プロジェクションマッピング(トンネル)



■ランニング



■ウォーキング



■ウォーキング



■ウォーキング

### ■湖陵総合公園イベント(約1,000人参加)



■挨拶



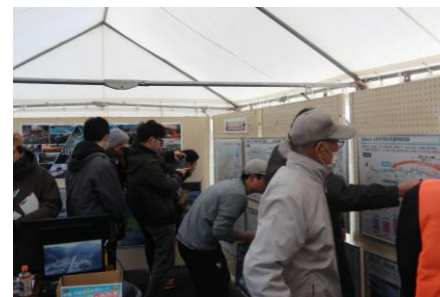
■ステージイベント



■テント村



■テント村



■山陰道PRブース



■はしご車乗車体験

# E9 山陰道 出雲・湖陵道路 湖陵・多伎道路 開通式典を開催

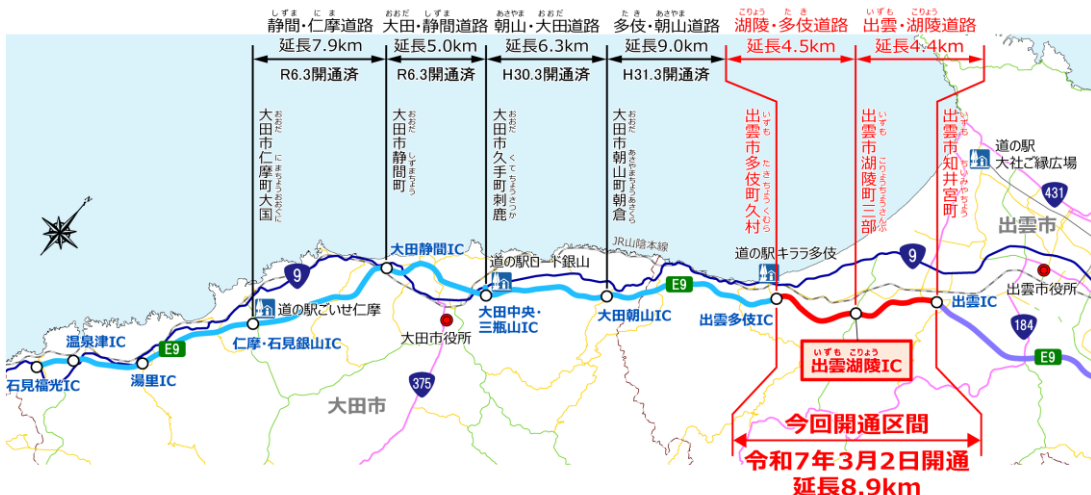
- 令和7年3月2日（日）山陰道 出雲・湖陵道路、湖陵・多伎道路の開通式典を開催。
- 山陰道 出雲・湖陵道路、湖陵・多伎道路は、産業振興、周遊観光促進、企業活動支援、災害時の円滑な移動、救急時の信頼性確保等に寄与。
- 事業の完成を祝い、国土交通省副大臣、関係国会議員、島根県知事、出雲市長をはじめ、約330人が出席し開通式典、祝賀行事が執り行われ、17時に一般開放しました。

## 事業概要

	出雲・湖陵道路	湖陵・多伎道路
事業着手	平成20年度	平成24年度
全体事業費	約398億円	約284億円

## 開催概要

開催日時	令和7年3月2日（日）9：30～
式典会場	出雲市立湖陵中学校
祝賀会場	出雲湖陵IC
共催	島根県、出雲市、 西日本高速道路株式会社中国支社、 国土交通省中国地方整備局



## 式典・祝賀行事



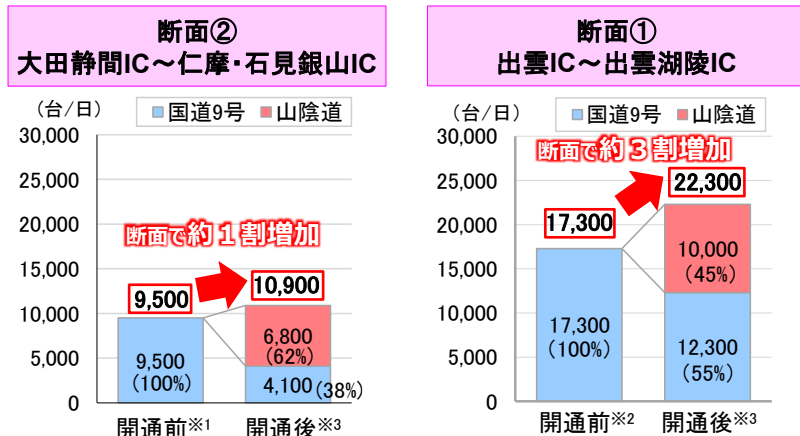
# E9 主要都市間の所要時間短縮

●東西に長い島根県は、東西主要都市間（島根県庁～浜田市役所）の移動に時間を要しています。山陰道が整備されることで移動時間が短縮され、人流、物流、産業、観光等の様々な分野での交流活性化が期待されています。

## 位置図



## 開通前後における交通量の比較



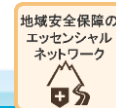
## 所要時間短縮効果



※1 出雲・湖陵道路、湖陵・多伎道路、大田・静間道路、静間・仁摩道路開通前:R5.9.27(水)、R5.10.4(水)  
 ※2 出雲・湖陵道路、湖陵・多伎道路開通前:R6.9.11(水)  
 ※3 山陰道(出雲IC～石見福光IC)開通半年後:R7.9.3(水)

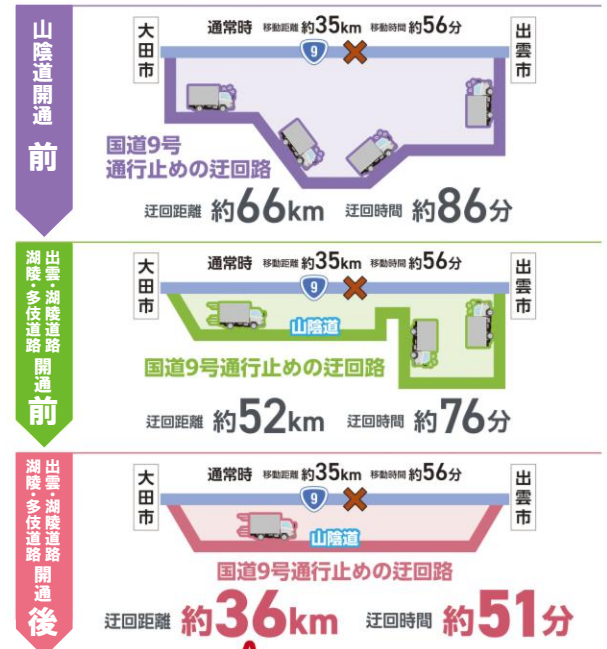
資料:大田・静間道路、静間・仁摩道路のみETC2.0プローブデータ(R6.8)、出雲・湖陵道路、湖陵・多伎道路はV=70km/h  
 その他道路は、R3全国道路・街路交通情勢調査の混雑時平均旅行速度より算出

# E9 地域安全保障の確保（迂回路確保）



- 島根県東部の国道9号では、災害や事故による通行止めによって大幅な迂回を強いられ、生活や物流に大きな支障をきたしてきました。
- 山陰道 出雲～仁摩が繋がることで、島根県東部地域のエッセンシャルネットワークが構築され、通行止め時の代替機能向上が期待されます。

## 国道9号の通行止め実績と迂回状況



山陰道開通前と比較し迂回距離が  
**計約30km短縮  
大幅な迂回解消**

※山陰道開通前は出雲IC～仁摩・石見山IC間が未整備時点での算出。  
 ※出雲・湖陵道路、湖陵・多伎道路は、V=70km/h、市道はV=30km/hとして算出。  
 資料：【山陰道開通前】H27全国道路・街路交通情勢調査 道路時平均旅行速度  
 【開通前】H27全国道路・街路交通情勢調査 道路時平均旅行速度  
 【開通後】H27全国道路・街路交通情勢調査 道路時平均旅行速度  
 (迂回路)H27全国道路・街路交通情勢調査 道路時平均旅行速度

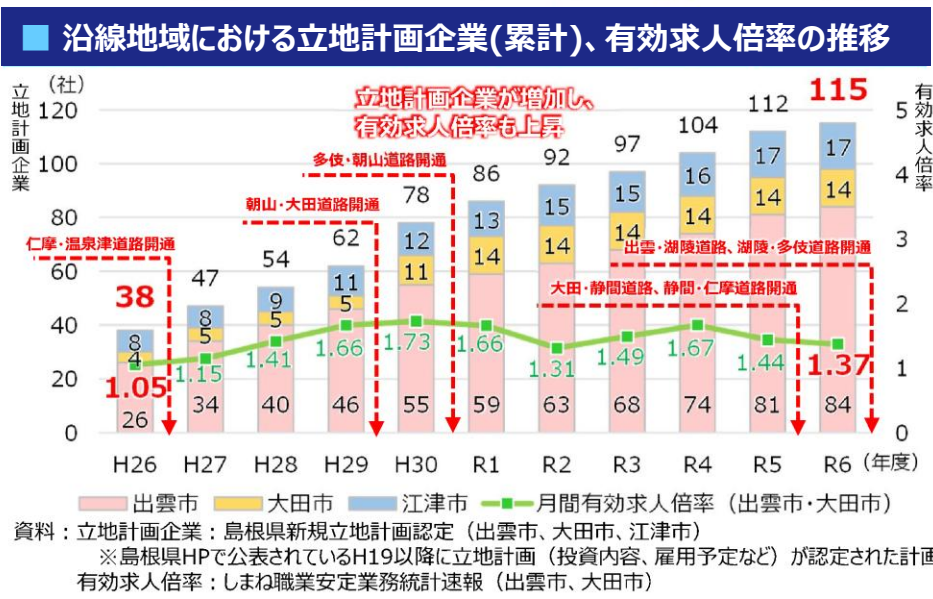
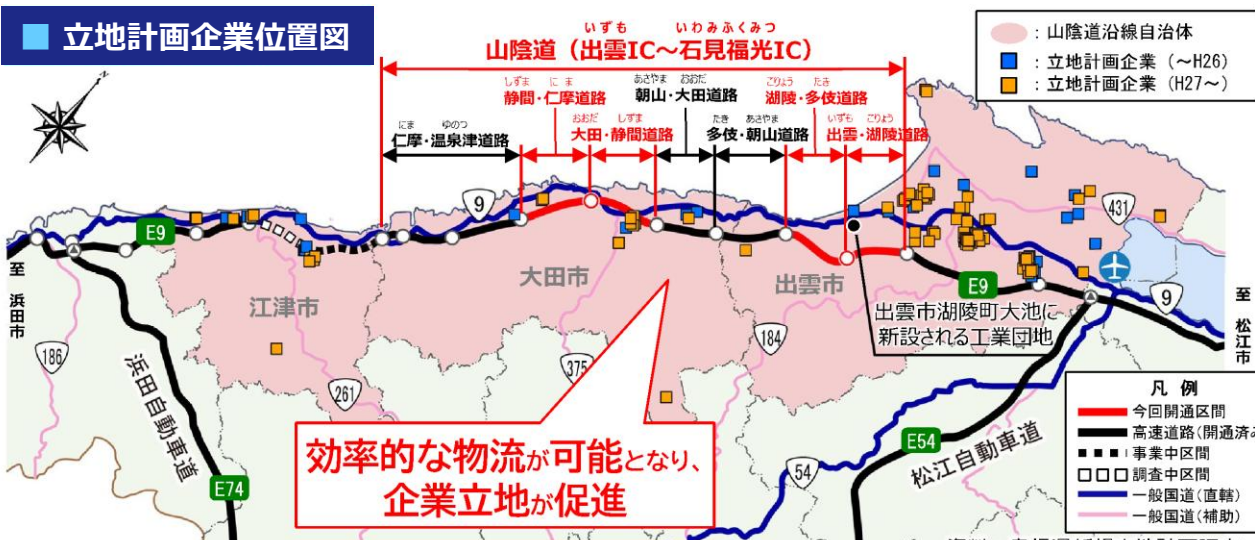


**開通済の山陰道が代替路として機能**

令和3年8月の大雨により、国道9号(出雲市多伎町内)で地すべりが発生し、約2ヶ月間にわたり全面通行止めとなりましたが、国道9号に並行して整備された多伎・朝山道路が代替路として有効に機能しました。

# E9 企業立地を支援

- 山陰道出雲IC～石見福光ICの沿線は、山陰道の段階的な開通に伴い、企業立地が進んでいます。
- 山陰道 出雲IC～石見福光ICが繋がることで、効率的な物流ネットワークが構築されることで、雇用エリアの拡大や新たな工業団地の計画に繋がり、更なる企業立地を支援しています。



### 地域の声

**<道路利用者の声>**

- 時間が短縮され、別の事に時間を割くことが出来るようになりました。
- 出雲市在住ですが、浜田市までは通勤圏内だと思います。

(R7年5月 地域住民webアンケート調査結果)

**<出雲市職員の声>**

- 企業は慢性的な人手不足であり、雇用のエリアが広がることは、人手不足の緩和にも貢献すると考えます。
- 山陰道の開通が新しく湖陵町大池の工業団地を整備する理由のひとつです。

(R7年5月 出雲市役所ヒアリング調査結果)

# E9 物流の効率化を支援

- 2024年4月から全国でトラックドライバーの働き方改革関連法が施行され、時間外労働の規制や拘束時間の規制が行われました。これにより、島根県内における物流企業の約25%は輸送可能量が減少しました。
- 一方で、松江市から浜田市へ輸送を行っている物流企業は、山陰道 出雲IC～石見福光ICが繋がることで、往復時間が1時間短縮することにより、拘束時間の超過のために実現できなかった輸送が可能になりました。
- 山陰道の利用により、物流の輸送可能範囲の拡大及びドライバーの労働環境の改善に貢献しています。

## 働き方改革関連法を踏まえた物流事例

### 開通前の輸送状況※1(働き方改革関連法を考慮した場合)

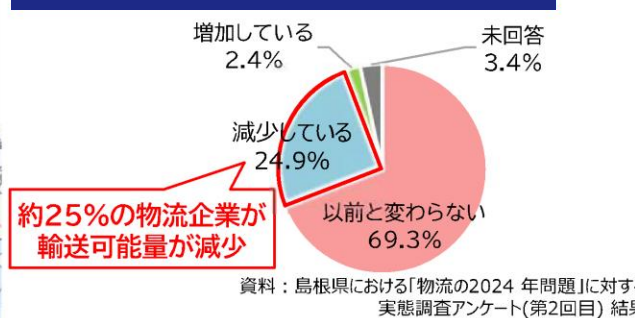


### 開通後の輸送状況※2



※所要時間は、物流企業ヒアリング調査結果より  
※所要時間は、休憩や荷下ろし等の時間も含む  
※1 出雲・湖陵道路、湖陵・多伎道路、大田・静間道路、静間・仁摩道路開通前  
※2 山陰道(出雲IC～石見福光IC)開通後

## 島根県内の2024年問題による輸送可能量の減少



## 地域の声

### <松江市の配送業者の声>

➤ 今回開通した区間を利用することで、輸送時間が短縮し、1人当たりの労働時間が年間約135時間の短縮となります。残業時間が大幅に削減され、ドライバーの労働環境が改善されています。

(R7年9月 物流企業ヒアリング調査結果)

### <出雲市の配送業者の声>

➤ 燃料費が高騰している中、山陰道開通による輸送時間の削減により、支出が抑えられています。

(R7年9月 物流企業ヒアリング調査結果)

# E9 周遊観光の促進を支援

- 島根県及び大田市は、山陰道の開通に伴い旅行ツアー会社と周遊観光商品の企画や観光パンフレットの作成を行っています。
- 山陰道 出雲IC～石見福光ICが繋がることで、地域間の移動時間が短縮したことから、島根県西部の観光地を含めた観光圏域の拡大や短縮時間を踏まえた観光客やツアー会社へのPR活動が可能になりました。
- 実際に、島根県西部における主要観光地の観光客数は増加しており、山陰道が周遊観光の促進を支援しています。

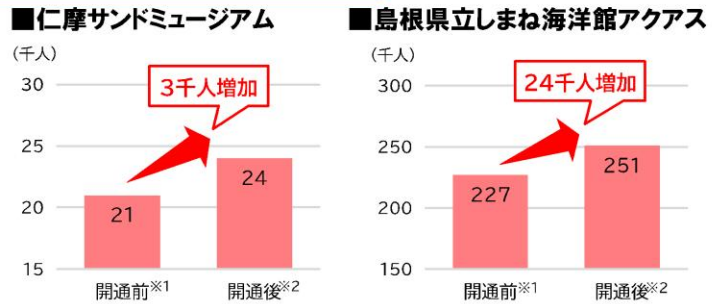
## 島根県の周遊観光商品における観光圏域の変化



## 大田市観光協会による移動時間のPR



## 施設別観光客数の推移



資料：島根県月別主要観光動向  
 ※1 出雲・湖陵道路、湖陵・多伎道路、大田・静間道路、静間・仁摩道路開通前：R5年3月～8月  
 ※2 山陰道(出雲IC～石見福光IC)開通後：R7年3月～8月

## 地域の声

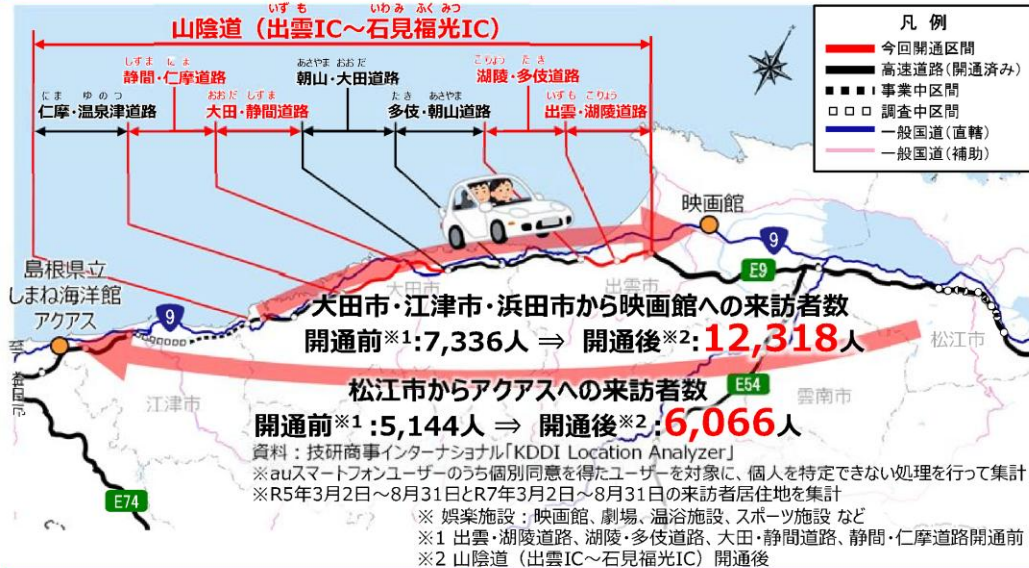
**<旅行会社の声>**  
 元々は松江市や出雲市の観光地をメインとしていましたが、それに加えて、**山陰道が開通し広域的な旅行商品**を作っていきたいということで新たな周遊観光商品の販売を始めました。  
 (R7年9月 島根県内旅行会社ヒアリング調査結果)

**<大田市観光協会の声>**  
 山陰道開通による地域間の所要時間短縮について、島根県を訪れる観光客の方々に周知を図るため、**出雲縁結び空港や周辺レンタカー会社へチラシを配布したり、県外での観光商談会では旅行会社に対してPR活動**を行っております。配布したチラシは大変好評で、旅行会社からは「**そんなに近くなったのか**」といった**驚きの反応**もいただいております。  
 (R7年9月 大田市観光協会ヒアリング調査結果)

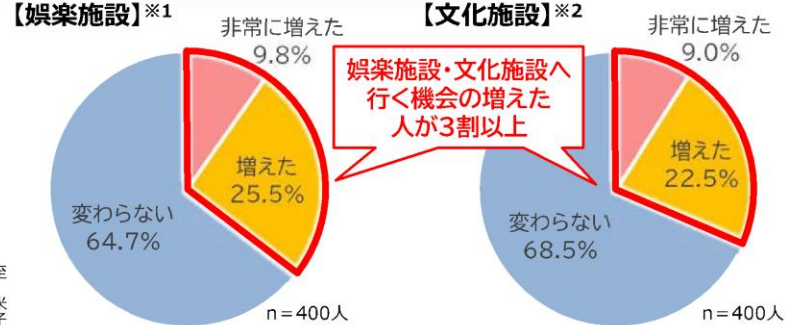
# E9 移動時間の短縮による余暇時間の充実を支援

- 島根県内には映画館やレジャー施設などが少ないことから、趣味・娯楽に使う時間が全国最下位となっています。
- 山陰道 出雲IC～石見福光ICが繋がることで、島根県内の東西におけるアクセス性が向上し、島根県東部からは島根県立しまね海洋館アクアス等のレジャー施設、島根県西部からは島根県東部の映画館等へ訪れる機会が増加しました。
- 山陰道の開通は、島根県民の趣味・娯楽を楽しむ機会の増加に貢献しています。

## ■ 島根県における娯楽施設の訪問数の変化

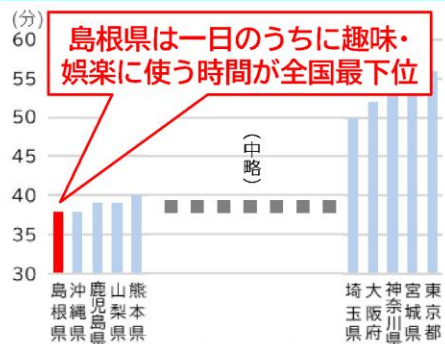


## ■ 山陰道開通後の施設訪問機会



資料：R7年5月 地域住民webアンケート調査結果  
 ※山陰道開通区間沿線地域の住民を対象 (出雲市、大田市、江津市、浜田市、美郷町、川本町、邑南町)  
 ※1 娯楽施設：映画館、劇場、温泉施設、スポーツ施設 など  
 ※2 文化施設：図書館、博物館、美術館 など

## ■ 趣味・娯楽に関する総平均時間の全国状況 (10歳以上)



## ■ 山陰道の整備段階を踏まえた出雲ICから石見福光ICまでの所要時間



資料：H22全国道路・街路交通情勢調査  
 ※1 山陰道 (出雲IC～石見福光IC) 未整備 (国道9号)  
 資料：ETC2.0データベース  
 ※2 出雲・湖陵道路、湖陵・多伎道路、大田・静間道路、静間・仁摩道路開通前：R5.7平日12時間平均  
 ※3 山陰道 (出雲IC～石見福光IC) 開通後：R7.7平日12時間平均  
 ※山陰道未整備、開通前は出雲ICアクセス道路が国道9号と交わる交差点を起終点として算出

## 地域の声



### <出雲市在住者の声>

- アクアスへ行きやすくなりました。
- 三瓶山に行く時、開通前はずっと山道で移動が大変でしたが、山陰道ができたことで移動時間が短くなり運転が楽になりました。

(R7年5月 地域住民webアンケート調査結果)

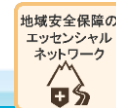
### <大田市以西在住者の声>

- 山陰道が開通し、出雲市だけでなく松江市の美術館等へも行きやすくなりました。
- 映画の上映時間に余裕を持って行けるようになったのでストレスが減りました。

(R7年5月 地域住民webアンケート調査結果)



# E9 救急搬送活動の支援



- 大田市には第三次救急医療機関がないことから、重篤疾患の患者等は出雲市中心部の第三次救急医療機関に令和6年は約490人搬送しています。これまで、搬送時間や急カーブなどによる搬送時の横揺れ等が患者への負担となっていました。
- 山陰道が大田市から出雲市中心部まで連続することにより、第三次救急医療機関への救急搬送時間は約10分短縮し、山陰道は信号停止や急カーブがないため搬送による患者への負担も軽減するなど、救急搬送活動を支援しています。

## ■ 第三次救急医療機関への救急搬送経路



## ■ 緊急走行する救急車両 (出雲多伎IC付近)



## ■ 救急搬送ルートにおける所要時間の変化



※所要時間は、ヒアリング調査結果より搬送実績の平均時間を整理  
 ※出発地は、各消防署の管轄エリア内の救急患者発生箇所  
 ※1 出雲・湖陵道路、湖陵・多伎道路、大田・静間道路、静間・仁摩道路開通前：R5.1.1～R5.12.31平均  
 ※2 山陰道（出雲IC～石見福光IC）開通後：R7.3.2～R7.4.30平均  
 資料：大田市消防本部ヒアリング調査結果

## 地域の声

<道路利用者の声>  
 ▶ 知人が救急車で走行した話を聞き、医療機関への到着が早かったと聞きました。  
 ▶ 島根県立中央病院・島根大学医学部附属病院が基幹病院なので安心になりました。

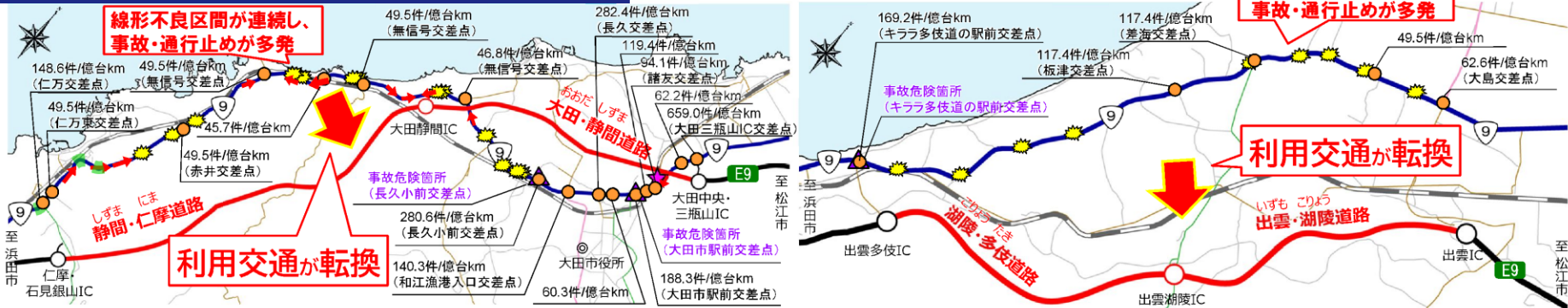
(R7年5月 地域住民webアンケート調査結果)

<消防署職員の声>  
 ▶ 令和6年は大田消防署から約450人、西部消防署から約40人を出雲市内の病院に搬送しています。  
 ▶ 道路状況が安定しており、患者の負担軽減に繋がっていると感じています。  
 ▶ 脳梗塞、脳出血等、後遺症が残るような早期に治療が必要な症状に対し、迅速な搬送ができていると実感しています。

(R7年5月 大田市消防本部ヒアリング調査結果)

- 出雲・湖陵道路、湖陵・多伎道路、大田・静間道路、静間・仁摩道路に並行する国道9号では、死傷事故率が全国平均を超過する交差点、事故危険箇所、急カーブや急勾配などの道路構造に課題のある区間が連続しています。
- 出雲・湖陵道路、湖陵・多伎道路、大田・静間道路、静間・仁摩道路の開通に伴う利用交通の転換により、国道9号の事故危険箇所等を回避でき、並行区間である国道9号の死傷事故件数が大幅に削減されています。
- 山陰道の利用により快適で安全な走行が可能となり、道路利用者の安心に繋がっています。

## 山陰道に並行する国道9号の交通事故発生状況



- 急カーブ区間 (平面曲線半径:R<150m)
- 急勾配区間 (縦断勾配:i>5%) ※矢印方向に登坂
- 死傷事故率全国平均以上 (R2~R5年平均)
- ▲ 事故危険箇所 (R4年3月指定)
- ★ 死亡事故発生箇所 (R2~R5年実績)
- ☀ 事故等による全面通行止め箇所 (H27~R6年度実績)

資料：  
 ・急カーブ、急勾配区間：道路台帳  
 ・死傷事故率、死亡事故発生箇所：ITARDAデータ  
 ※全国平均値はR4年値(43.5件/億台km)を適用  
 ・事故危険箇所、全面通行止め：国土交通省資料

- 今回開通区間
- 高速道路(開通済み)
- 一般国道(直轄)
- 一般国道(補助)
- 主要地方道
- 一般県道

## 死傷事故件数の変化

■大田・静間道路、静間・仁摩道路及び並行する国道9号<1年間比較> ■出雲・湖陵道路、湖陵・多伎道路及び並行する国道9号<2ヶ月間比較>



資料：島根県大田警察署・出雲警察署資料  
 大田・静間道路、静間・仁摩道路：開通前 (R5.3.9~R6.3.8) 開通後 (R6.3.9~R7.3.8)  
 出雲・湖陵道路、湖陵・多伎道路：開通前 (R5.3.2~R5.4.30) 開通後 (R7.3.2~R7.4.30)

## 地域の声

<道路利用者の声>

- 交通量の分散化で危険が下がったと思います。
- カーブが多く事故も多発していたので新しい道路ができてよかったと思います。
- 出雲大田間で国道9号で事故があった時、迂回路がなくて渋滞し、随分待たされたことがありました。高速道路が開通して、事故がもしあった場合でも国道9号が高速道路を通れば良いので、安心できます。

(R7年5月 地域住民webアンケート調査結果)

- 松江国道事務所管内の全工事で週休2日を宣言し、受・発注者一体で働き方改革を推進
- その他、快適トイレの原則導入や近年の気候変動に応じて、建設現場において働きやすい職場環境づくりに取り組む



週休2日宣言チラシ



建設現場に設置された快適トイレ



熱中症対策リーフレット



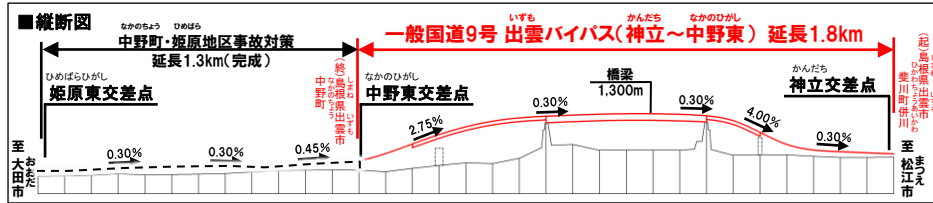
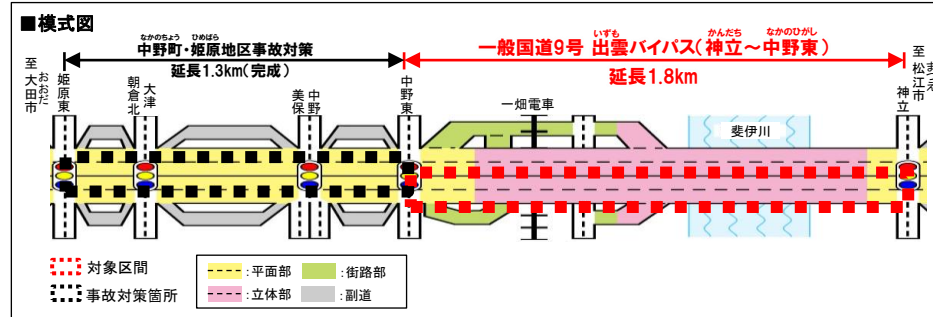
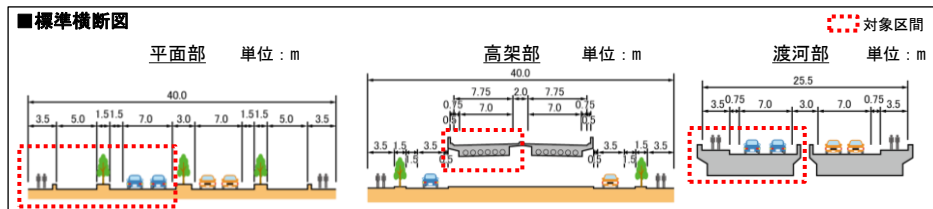
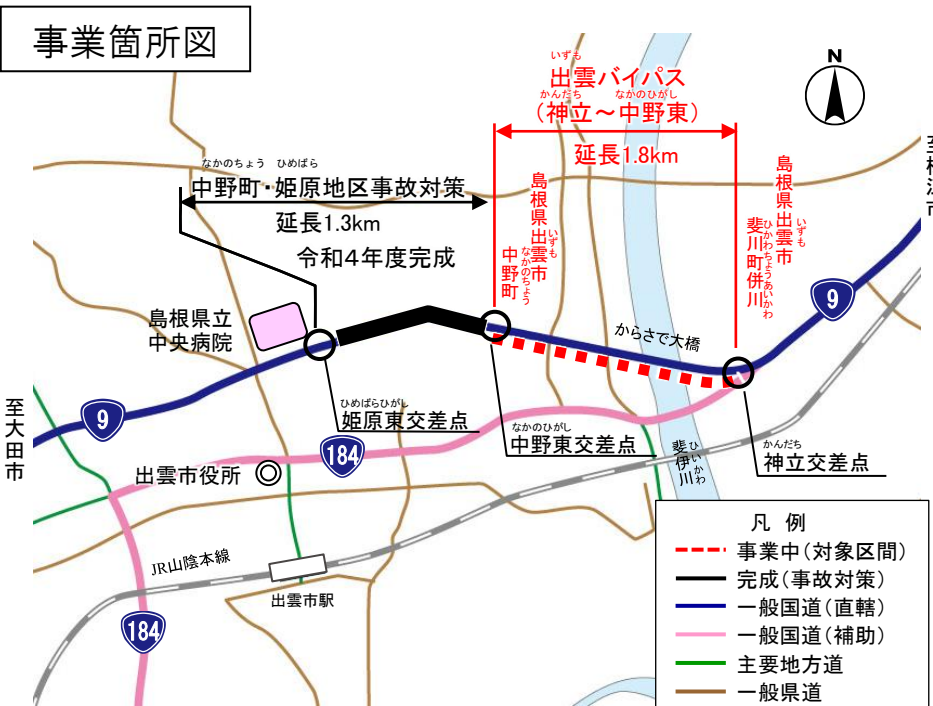
季節に応じた休憩所の改善

# 一般国道9号 出雲バイパス (神立～中野東)

## 事業概要

出雲市街地中心部に位置する当該区間では、著しい交通混雑が発生し、地域産業活動や救急医療活動等に支障をきたしています。出雲バイパス(神立～中野東)事業は、交通混雑を緩和し、円滑な交通の確保を目的とした延長1.8kmの道路です。令和8年度は、出雲市中野町～斐川町において環境調査、水文調査、橋梁設計、用地補償、改良工事を推進します。

## 事業箇所図



## 状況写真



▲中野東交差点付近の渋滞状況(朝ピーク)

▲からさで大橋起点付近の渋滞状況(朝ピーク)

▲物流車両の通行阻害状況

# 一般国道54号 三刀屋拡幅事業

## 事業概要

雲南市三刀屋町地内は中国横断自動車道尾道松江線の三刀屋木次ICの開通や市街地の開発などにより車両、歩行者の安全確保等の課題が生じています。三刀屋拡幅は、このような課題に対し、安全性の向上を図り、周辺の土地利用を促進するなど、高速道路と連携した整備を進めています。

令和8年度は、雲南市三刀屋町三刀屋において舗装工事を推進します。

## 事業箇所図



## 状況写真



上空より里熊大橋周辺を望む



里熊大橋 広島方面を望む



県道の通学状況

# 一般国道54号 赤名トンネル改修事業

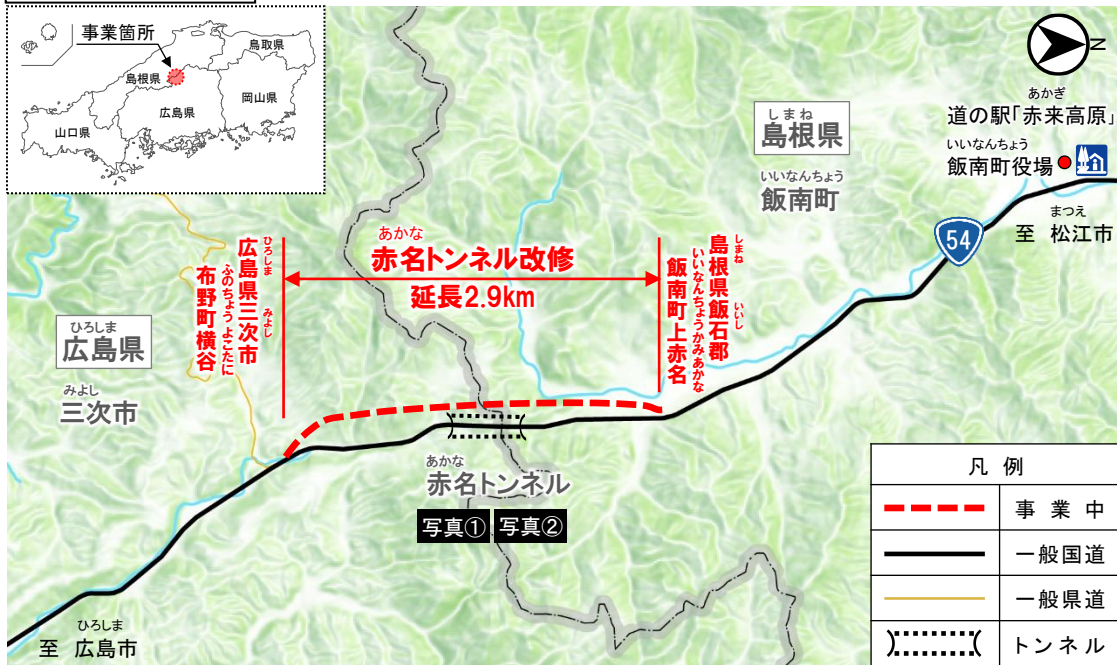
あかな

## 事業概要

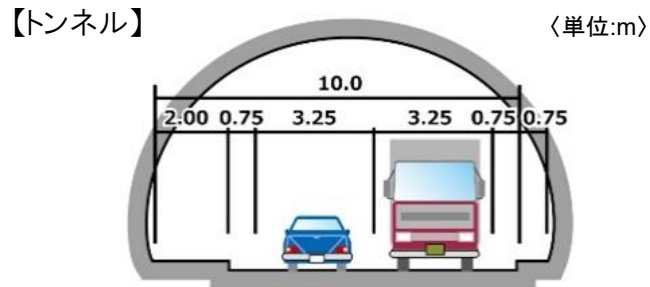
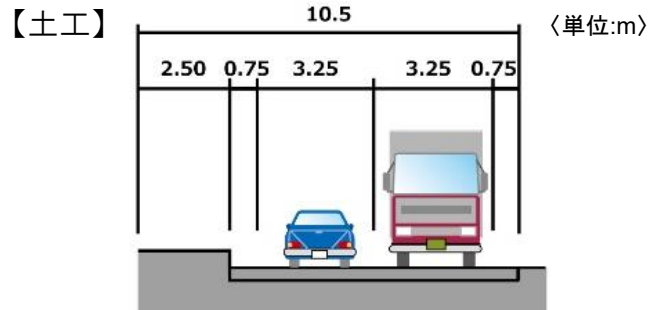
島根県と広島県の県境に位置する該当区間では、経年劣化が進行した赤名トンネルが存在し、緊急点検などのメンテナンスによる長期の規制で地域生活に影響を及ぼしています。

赤名トンネル改修は、交通インフラの強靱化を目的とした延長2.9kmのトンネル改修事業です。令和8年度は、地質調査、道路設計を推進します。

## 事業箇所図



## 標準断面図



## 状況写真



【写真①】赤名トンネル緊急点検の様子(令和3年1月)



【写真②】赤名トンネルにおける車両の接触による損傷

# 令和8年度 交通安全事業・電線共同溝事業

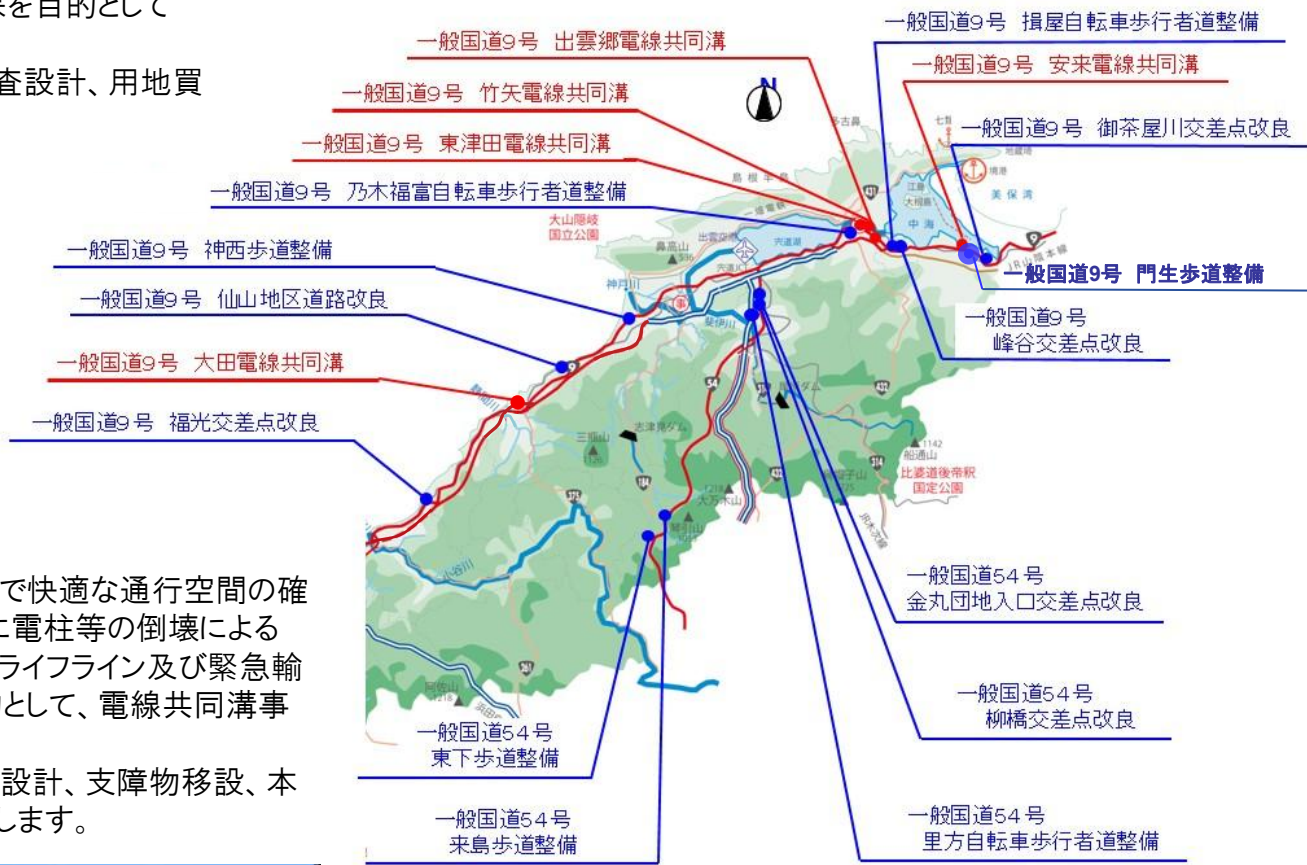
## 交通安全事業概要

事故ゼロプラン(事故危険区間重点解消作戦)の対象区間における交通事故対策や、歩行者や自転車が安全・安心に通行できる道路空間の確保を目的として交通安全事業を進めています。

令和8年度は、13箇所において、調査設計、用地買収、用地補償、工事を推進します。



【大田市温泉津町福光】  
一般国道9号 福光交差点改良



## 電線共同溝事業概要

電線類を地中化することにより、安全で快適な通行空間の確保、都市景観の保全、台風や地震時に電柱等の倒壊による道路の寸断を防止し、災害時におけるライフライン及び緊急輸送道路の安全性を確保することを目的として、電線共同溝事業を進めています。

令和8年度は、5箇所において、調査設計、支障物移設、本体工事(引込管路工事等含む)を推進します。



【現況】



【整備後イメージ】

一般国道9号 安来電線共同溝

— 電線共同溝事業	5箇所
— 交通安全事業	13箇所

# 事故ゼロプランの取り組み

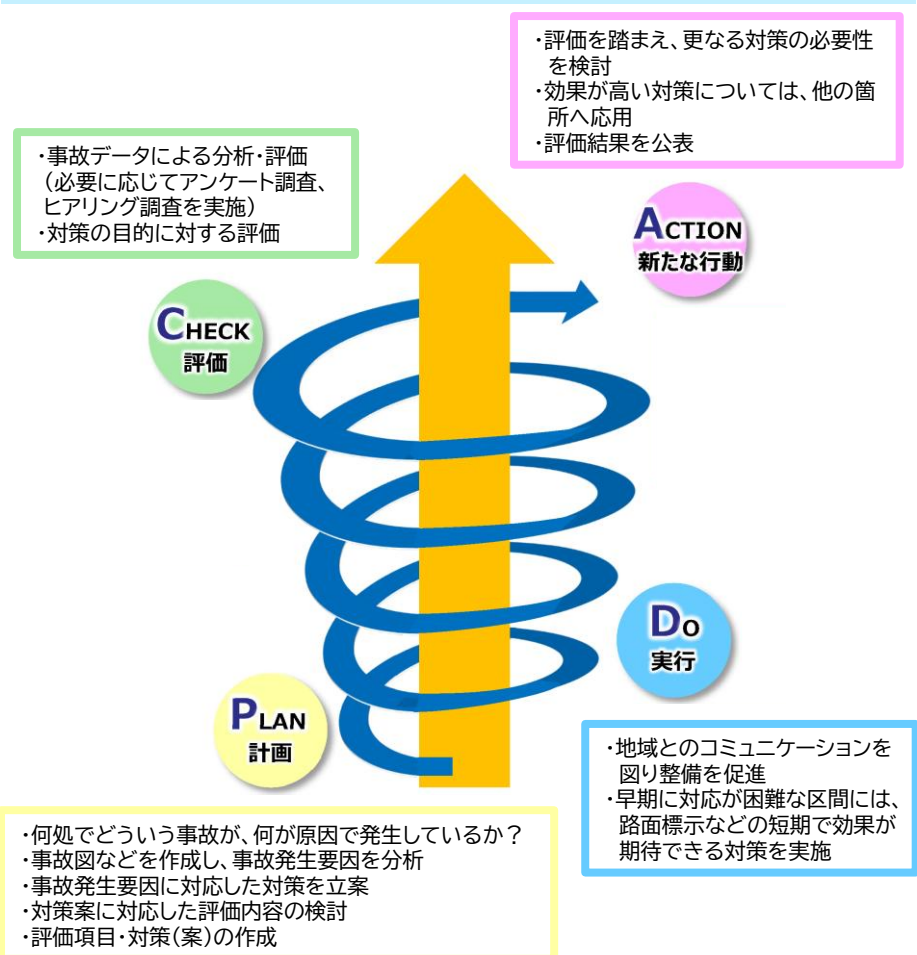
- 国土交通省では、交通安全事業の透明性・効果性を一層高めるため、島根県内の直轄国道について事故データおよび地域の声をもとに“事故危険区間”を設定
- 「事故ゼロプラン」として、関係機関や地域と連携しながらPDCAサイクルを推進し、重点的・集中的に事故危険区間の解消に取り組んでいる

## ◆事故危険区間(代表区間)



PDCA	取り組みの進捗状況	松江国道事務所	浜田河川国道事務所	計
Plan	対策検討中(未着手)	14区間	5区間	19区間
Do	事業中	14区間	12区間	26区間
Check	経過観察中	3区間	0区間	3区間
Action	追加対策検討中、対策完了	2区間	0区間	2区間
	合計	33区間	17区間	50区間

## ◆PDCAサイクル

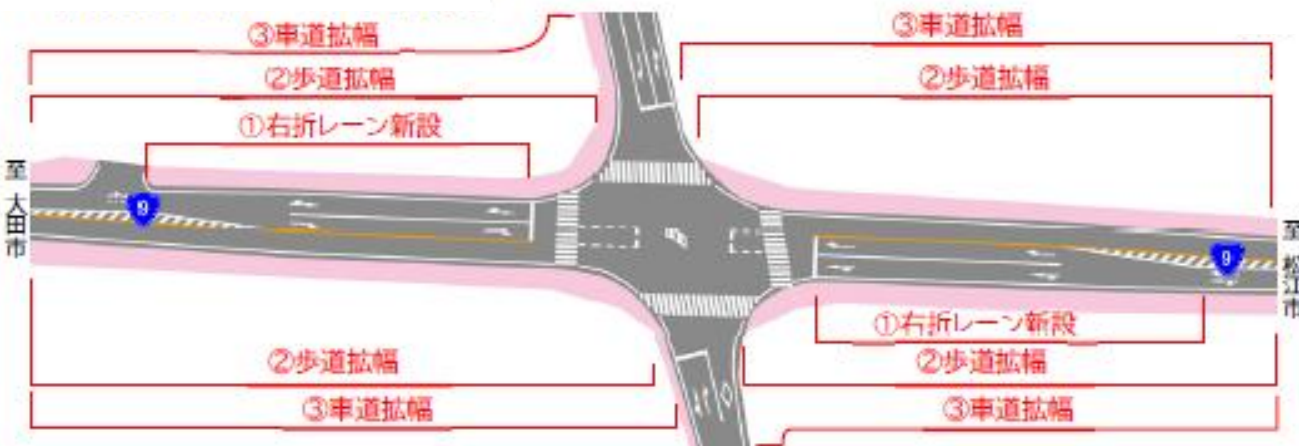


# 事故ゼロプランの取り組み ～対策事業の効果検証～

- 国道9号直江交差点では、右折待ち車両による後続阻害が発生し、追突事故が多発
- 右折レーンの新設や車道拡幅等の対策実施により、急減速発生頻度が減少するなど、安全性が向上

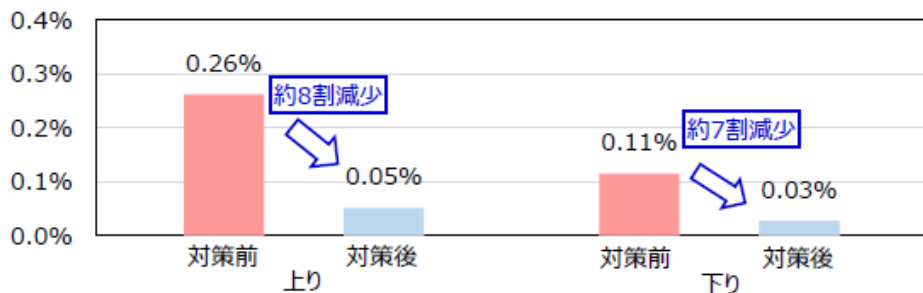


## 【交通事故の対策内容】

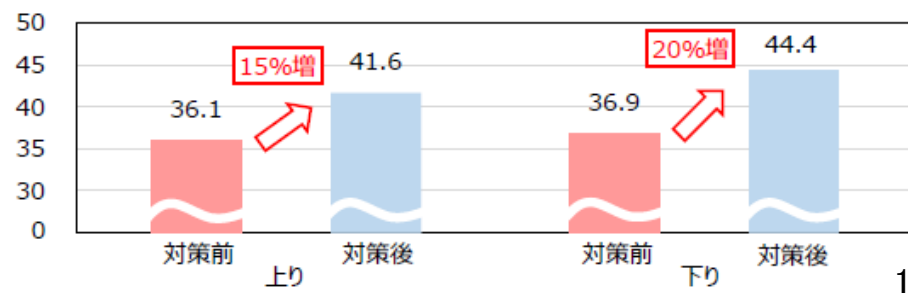


▲対策写真

## 【急減速発生頻度】



## 【平均走行速度 (km/h)】



# 一般国道9号 門生歩道整備事業

かどう

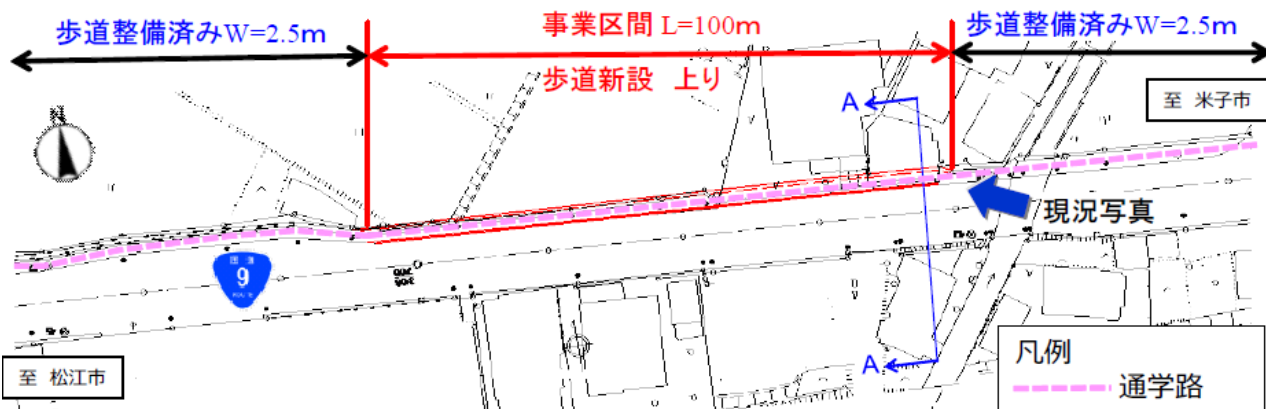
## 事業概要

当該箇所は、近傍に島田小学校が立地しており、通学路に指定がされているが、歩道未整備区間であり、危険な状況となっている。

本事業は、事故ゼロプラン(事故危険区間重点解消作戦)の対象区間として、歩道整備を実施し、歩行者が安全・安心に通行できる歩行空間の確保を行うものである。

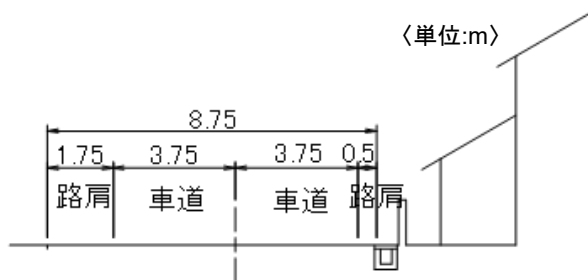
令和8年度は調査設計を実施し、事業を推進します。

## 事業箇所図

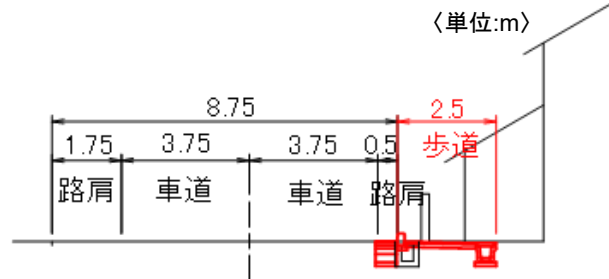


## 標準断面図

### 【現況断面図(A-A断面)】



### 【計画断面図(A-A断面)】



## 状況写真





# 一般国道9号 神西歩道整備事業

じんざい

## 事業概要

当該箇所は、小学校が近傍に存在するが、国道9号南側歩道は狭隘で通学路として利用できず、地域内道路をやむなく通学路として利用している状況となっている。事故ゼロプラン(事故危険区間重点解消作戦)の対象区間として、歩道整備を実施し、歩行者が安全・安心に通行できる歩行空間の確保を行うものである。

令和8年度は、調査設計を実施し、事業を推進します。

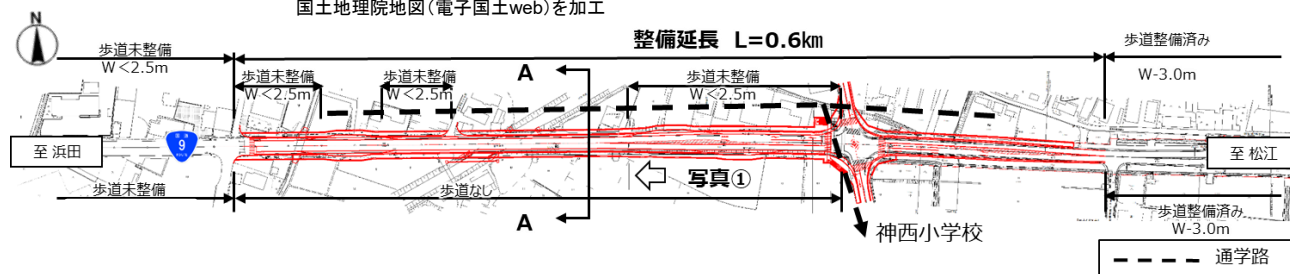
## 事業箇所図



国土地理院地図(電子国土web)を加工



写真①: 神西小学校付近の通学状況



写真②: 地域内道路を通学路としてやむなく利用

## 標準断面図

### ■ A-A断面

【現況断面図】〈単位:m〉

【計画断面図】〈単位:m〉

1.00 3.25 3.25 0.50 2.50

歩道 2.50 路肩 0.50 自転車専用通行帯 1.50 3.25 3.25 自転車専用通行帯 1.50 路肩 0.50 歩道 2.50

# 一般国道54号 東下歩道整備事業

ひがししも

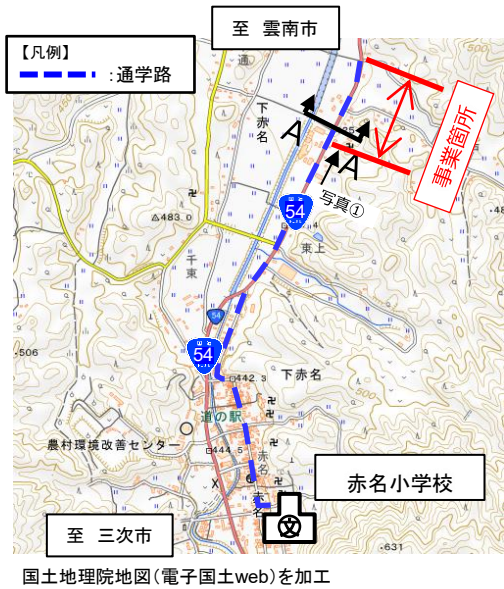
## 事業概要

当該箇所は、赤名小学校の通学路に指定されているが、片側のみ歩道整備済となっており、横断施設も無く、非常に危険な状況となっている。特に冬季には積雪により路肩の通行が困難な状況となるなど、早急な対応が必要である。R3年度通学路合同点検において要対策箇所指定されている。

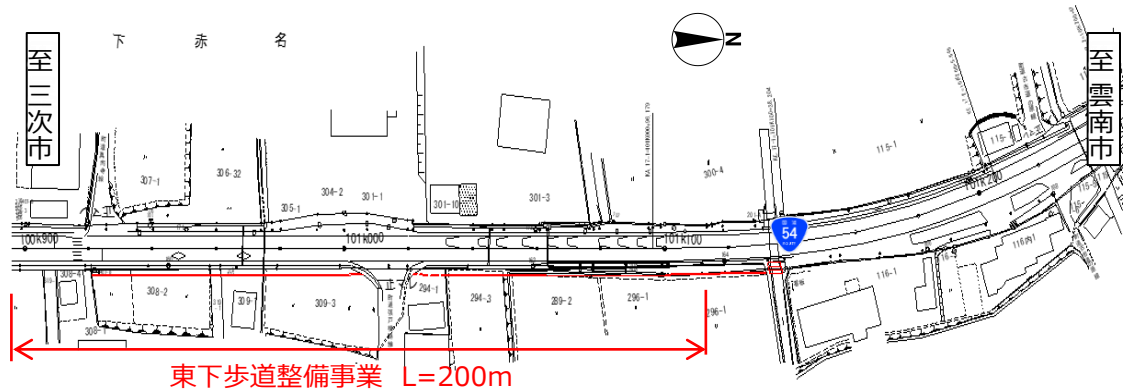
本事業は、事故ゼロプラン(事故危険区間重点解消作戦)の対象区間として、歩道整備を実施し、歩行者が安全・安心に通行できる歩行空間の確保を行うものである。令和8年度は、用地買収、工事を実施し、事業を推進します。



## 事業箇所図

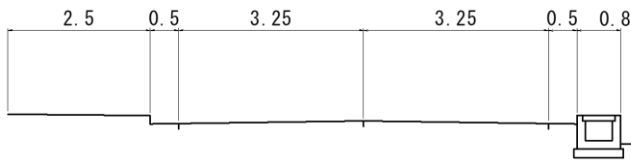


## 状況写真

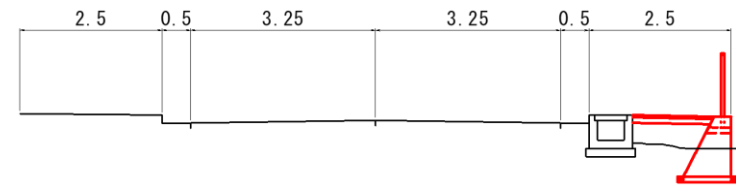


## 標準断面図

【現況断面図】〈単位:m〉



【計画断面図】〈単位:m〉



# 一般国道9号 福光交差点改良事業

## 事業概要

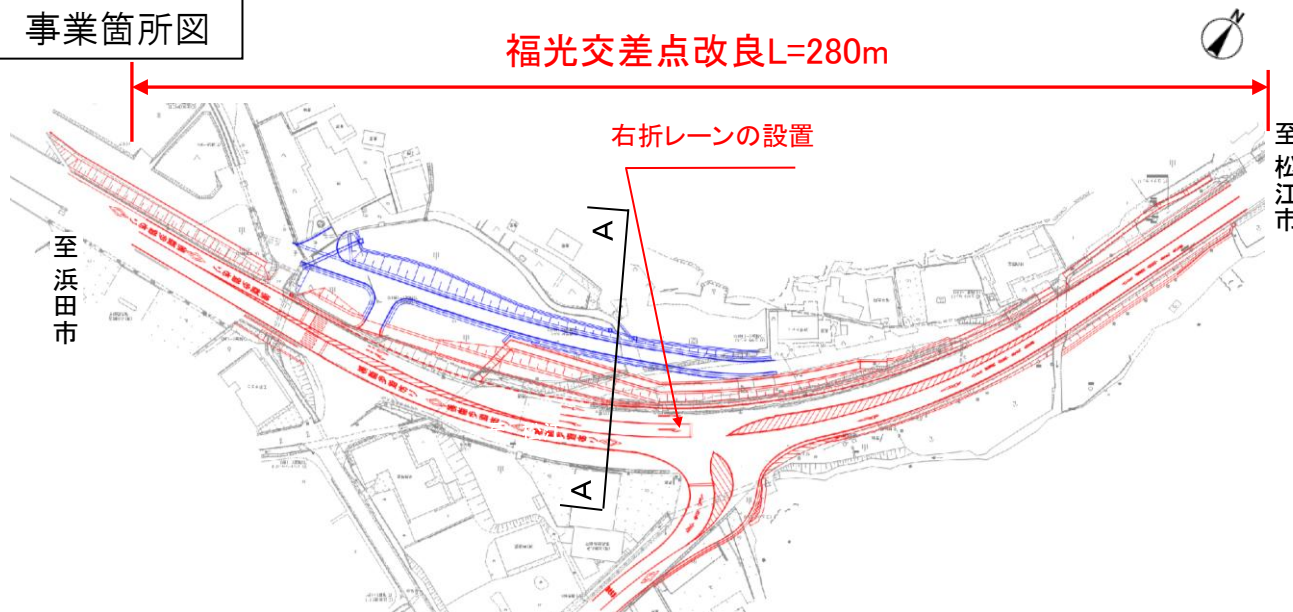
当該箇所は、右折車線のない交差点であり、朝夕のピーク時を中心に右折待ち車両に伴う滞留が発生している。このため、交差点手前のカーブ区間での減速や停車により、追突事故が発生する危険な状態となっている。

本事業は、事故ゼロプラン(事故危険区間重点解消作戦)の対象区間として、右折車線の設置により、追突事故の解消を図るものである。

令和8年度は、改良工事を実施し、事業を推進します。



## 事業箇所図

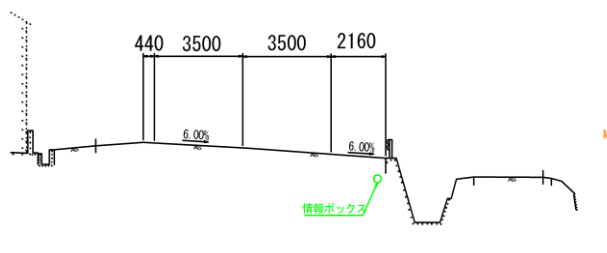


## 状況写真

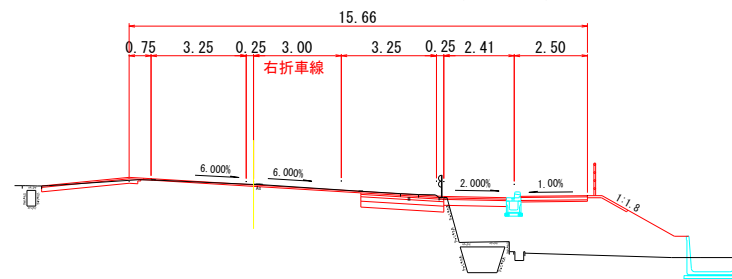


## 標準断面図

【現況断面図】〈単位:m〉



【計画断面図】〈単位:m〉



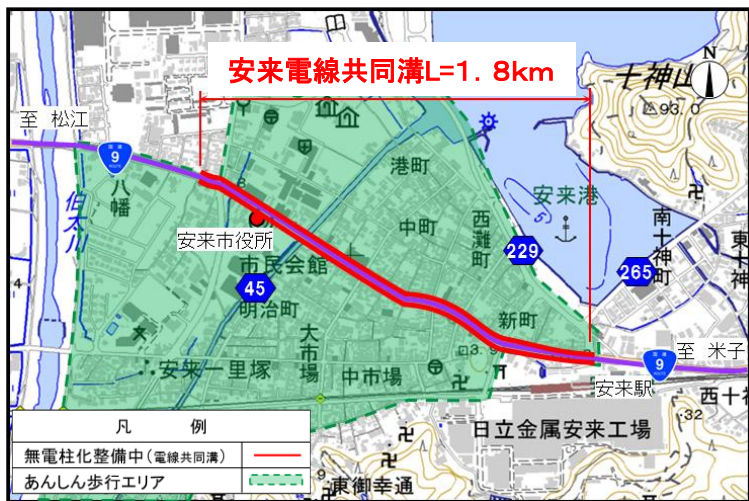
# 一般国道9号 安来電線共同溝事業

## 事業概要

本事業箇所は、商業施設等が立ち並ぶ安来市の商業地域に位置するとともに、安来駅を中心としたあんしん歩行エリアに指定されていることから、電線共同溝を整備し無電柱化することで、安全で快適な歩行空間の確保並びに震災時等における緊急輸送道路の確保を図るとともに、良好な都市景観の形成に向けたまちづくりを支援するものである。

令和8年度は、調査設計、支障物移設、本体工事(引込連系管路工事等含む)を推進します。

## 事業箇所図



## 状況写真

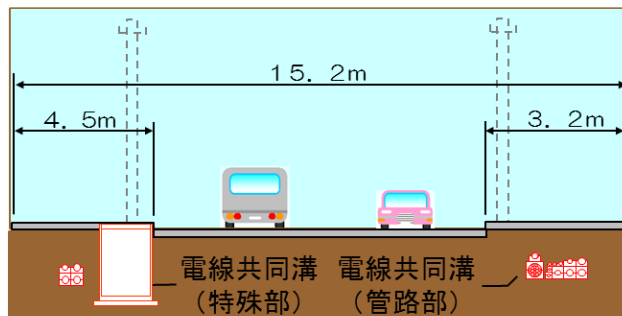


### 《整備の必要性(イメージ写真)》

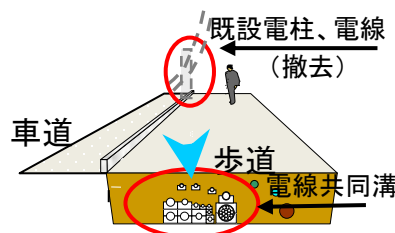
○道路上に設置されている電柱は、災害時の倒壊により道路を閉塞させるおそれがあるほか、歩行者等の通行や良好な都市景観の形成の妨げとなっています。



## 標準断面図



### 《イメージ図》



・道路上から電柱や電線がなくなることで、安全で快適な歩行空間の確保が図られ、震災時の電柱倒壊による通行止めへの心配がなくなるため道路の防災性が向上します。また、電線がなくなることで、良好な都市景観の向上が期待されます。

